



グラメックス水和剤

農林水産省登録 第15443号

1/3

令和5年3月8日現在

適用雑草と使用方法

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の 使用 回数	使用方法	シアナジンを含む農薬の 総使用回数
				薬量	希釈水量			
ばれいしょ	—	一年生雑草	植付後 萌芽前	100～300g/10a	100ℓ/10a	1 回	全面土壌 散 布	1 回
たまねぎ (直播栽培)			は種後出芽前 (雑草発生前)	75～100g/10a				
たまねぎ		一年生広葉雑草	定植活着後 (雑草発生前)	50～100g/10a				
ね ぎ		一年生雑草	但し、収穫30 日前まで	100～200g/10a				
			100～150g/10a	50～150g/10a				
			定植活着後 (雑草発生始期)					
但し、収穫30 日前まで								
アスパラガス			萌芽前又は 収穫後 (雑草発生前)	100～200g/10a				
日 本 芝			春期雑草 発 生 前	200～400g/10a	200～300ℓ/10a	3 回 以内		3 回 以内
			秋冬期雑草 発 生 初 期	50～200g/10a				
桑			桑発芽前 (雑草発生前)	200～300g/10a	100～200ℓ/10a	2 回 以内	2 回 以内	
すぎ・ひのき (床 替 床)								
樹 木 等		公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 宅地 運動場 のり面等	雑草発生前	300～600g/10a	3 回 以内	植栽地を 除く樹木 等の周辺 地に全面 土壌散布	3 回 以内	



アグロ カネショウ株式会社

<https://www.agrokanesho.co.jp/>



⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 本剤は雑草発生前～発生始期に有効なので時期を失しないよう土壌全面に均一に散布する。
- 本剤はツユクサに対して効果が劣るので、ツユクサの優占ほ場での使用はさける。また、広葉雑草に比べてイネ科雑草にはやや効果が劣るので、イネ科雑草には所定範囲内の多目の薬量とする。
- 砂土、水はけの良い土壌では、薬害を生じるおそれがあるので使用をさける。また、雨の多い時期、場所での使用はさける。
- 高温時の散布は薬害を生じるおそれがあるので、所定範囲内の少な目の薬量とする。
- ばれいしょに使用する場合は、萌芽直前の散布は薬害を生じるおそれがあるのでさける。
- たまねぎに使用する場合、マルチ栽培では茎葉部褐変、枯死等の薬害が生じるおそれがあるため使用しない。また、低薬量で使用する場合は、キク科雑草以外の草種には効果が劣るので留意する。
- ねぎに使用する場合、次のような条件では薬害のおそれがあるので使用をさける。
 - ① 定植後1ヶ月未満などネギが十分に活着していない場合
 - ② ねぎの草丈が20cm以下の場合
 - ③ 春期以降の気温が高まる時期
 - ④ 砂土～砂壤土の場所
- 日本芝で春期に使用する場合は、芝の萌芽期以降の散布は黄化褐変等の薬害を生じるおそれがあるのでさける。また、秋冬期に使用する場合は、一時的に葉身に黄化や退色などの薬害を生じる場合があるので、芝生育期（生育休止期）に使用する。
尚「芝生育期（生育休止期）」とは、茎葉の一部に緑色が残っていても、生育の停滞している時期を指す。
- 桑、すぎ、ひのきに使用する場合には、茎葉部に薬剤が付着すると薬害を生じるおそれがあるので、散布の際には作物にかからないよう注意する。
- 蚕に対して影響があるので、桑葉にはかからないようにする。
- 公園、庭園等で使用する場合は、特に以下のことに注意する。
 - ① 農作物の栽培地周辺での使用をさける。
 - ② 激しい降雨の予想される場合は使用をさける。
 - ③ 本剤の飛散あるいは流出によって有用植物に薬害が生じることを十分注意して散布する。
 - ④ 水源池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意する。
 - ⑤ 散布器具、容器の洗浄水及び残りの薬液は河川等に流さず、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意



- 誤飲、誤食などのないよう注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗する。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いには十分注意する。
- 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。
- 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に保管する。





グラメックス水和剤

農林水産省登録 第15443号

3/3

令和5年3月8日現在

治 療 法…該当なし

魚毒性等…水産動植物（藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

保 管…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。



アグロ カネショウ株式会社

<https://www.agrokanesho.co.jp/>